

漏電表示器

SRL-02

取扱説明書

このたびは、漏電表示器SRL-02をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

なお、この取扱説明書は、必要な時いつでも取り出せるように大切に保管して下さい。

—SOUKOU—

本社・工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡秦荘町蚊野215

TEL0749-37-3664(代) FAX0749-37-3515

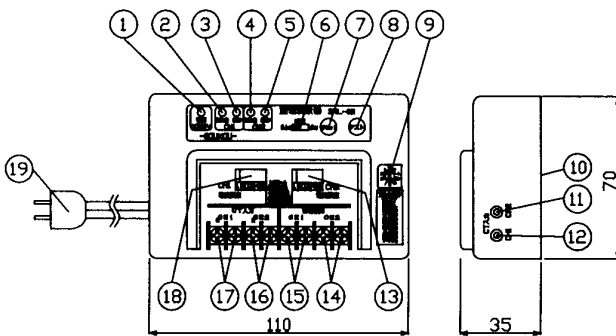
東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町15三友ビル3F

TEL 03-3258-3731(代) FAX03-3258-3974

九州連絡所 〒812-0043 福岡市博多区4-24-14トクビル5F

TEL 092-413-7848(代) FAX092-413-7939

—各部の名称と説明—



- ① 電源ランプ：本器に電源を供給している時に点灯します。
- ② %検出ランプ (CH1)：CH1の%検出動作時に点灯します。
- ③ 動作ランプ (CH1)：CH1の電流設定値動作時に点灯します。
- ④ %検出ランプ (CH2)：CH2の%検出動作時に点灯します。
- ⑤ 動作ランプ (CH2)：CH2の電流設定値動作時に点灯します。
- ⑥ 検出時間切替スイッチ：電流設定値動作の検出時間を切り替えます。
- ⑦ リセットスイッチ：検出動作したランプのリセットスイッチです。
- ⑧ テストスイッチ：本器の動作確認スイッチです。
- ⑨ %検出切替スイッチ：%検出動作の値を設定するスイッチです。
- ⑩ マグネット：鉄柱などに取り付けるためのマグネットです。
- ⑪ CT入力ジャック (CH1)：CH1のCTセンサの接続ジャックです。
- ⑫ CT入力ジャック (CH2)：CH2のCTセンサの接続ジャックです。

—安全上のご注意—

- 本器を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載してあります。

○使用環境

注 意

- ・直射日光や高温多湿、結露するような環境下での、保存や使用はしないで下さい。変形または絶縁劣化をおこす場合があります。
- ・酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境で使用しないで下さい。
- ・機械的振動が直接伝わる場所での使用、保存はしないで下さい。
- ・強磁界を発生するもの、または帯電しているものの近くで使用しないで下さい。誤動作の原因となります。
- ・本器は防水、防塵とはなりません。ほこりの多い環境や、水のかかる環境では使用しないで下さい。

○使用条件、接続

警 告

感電の恐れがあります。

- ・本器は低圧用です。AC500V以下の電路で使用して下さい。使用前に使用回路電圧の確認を行って下さい。
- ・測定は被覆線のみとし、裸線にはクランプしないで下さい。
- ・接続の際は、低圧用絶縁手袋の着用をおすすめします。

感電や感電事故の恐れがあります。

- ・雨や湿気にさらされた状態、水滴が付着した状態、または濡れた手での使用は避けて下さい。
- ・CTセンサまたはコードに損傷、異常のある場合は使用を避けて下さい。

感電や火傷事故、発火事故の恐れがあります。

- ・CTに過大電流を印加すると発熱する恐れがあるため、CTは定格に応じて使用して下さい。
- ・本器の電源電圧はAC100Vです。定格電源電圧外で使用しますと、本器の破損や電気事故になりますので、範囲外では絶対に使用しないで下さい。

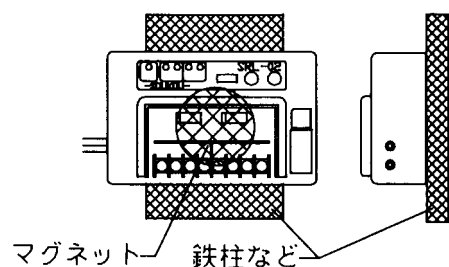
- ⑬ 電流設定ピン (CH2)：CH2の動作電流を設定します。
- ⑭ 警報出力端子 (CH2)：CH2の警報出力端子です。
- ⑮ 警報出力端子 (CH1)：CH1の警報出力端子です。
- ⑯ CT入力端子 (CH2)：CH2のCTセンサの接続端子です。
- ⑰ CT入力端子 (CH1)：CH1のCTセンサの接続端子です。
- ⑱ 電流設定ピン (CH1)：CH1の動作電流を設定します。
- ⑲ 電源プラグ：本器に電源を取り込むプラグです。(AC100V)

*各チャンネルのCT入力ジャックと、CT入力端子とは、それぞれのチャンネル同士が並列になっています。基本的には付属のCTセンサをCT入力ジャックに接続して使用しますが、CT入力端子にCTセンサを接続する場合は、CT入力ジャックは使用しないで下さい。

—本体の取り付け—

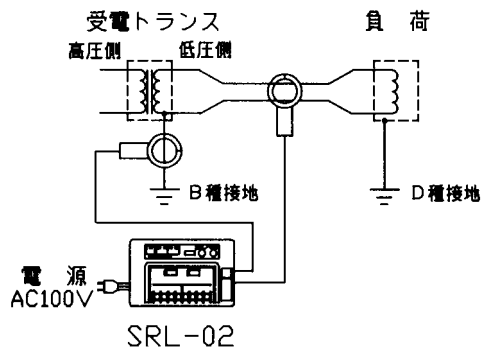
注) 故障を防ぎ、高精度で測定するため、次の場所には取り付けしないで下さい。

- ・受電トランスの筐体やその付近、また電力線等磁界を発生する場所。
- ・機械的振動が直接伝わる場所。
- ・直射日光の当たる場所、本器の使用温度範囲を超える場所。



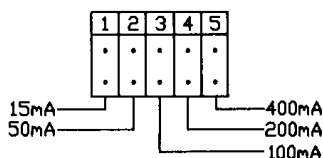
接続方法

B種接地線、または低圧側配線にCTセンサを接続します。



使用方法

- 1) 接続方法に基づき、本体及びCTセンサを接続して下さい。
注) CTセンサは、トランスや電力線から極力遠ざけて下さい。
- 2) CH1、CH2それぞれの電流設定ピンをショートピンにより設定をします。
ショートピンを手で引き抜き、設定したい電流レンジの所にショートピンを挿入します。注) 計測中は変更しないで下さい。



仕様

- 電源電圧 : AC100V±10% 50/60Hz
 - 消費電力 : 2VA以下
 - 測定回路数 : 2チャンネル
 - 検出方式 : CTクランプ方式
 - 電流設定レンジ : 15/50/100/200/400mA
 - 電流入力特性 : 150Hz以上で-3dBの減衰特性
 - 検出精度 : 各電流設定値に対して±5%
 - 検出時間 : 0.1/2秒
(%検出動作は0.1秒)
 - 交流変換方式 : 平均値測定実効値換算
 - CTセンサ窓径 : φ40mm
 - 警報出力方式 : 有接点 (a接点) リレー出力
(AC125V, 0.5A/DC24V, 1A) 抵抗負荷
 - 使用環境 : 0~50℃ 85%RH以下 (但し結露なきこと)
 - 保存環境 : -20℃~60℃ 80%RH以下 (但し結露なきこと)
 - 外形寸法 : 70 (H) × 110 (W) × 35 (D) mm
 - 重量 : 約300g
- 付属品
- ・クランプ式CTセンサ (40φ) 2個
 - ・電源補助コード 1本
 - ・取扱説明書 (本書) 1部

- 3) 必要に応じて%検出切替スイッチの設定を行います。
このスイッチは、設定した電流レンジ (電流設定値) を100%とし、それに対しての%で検出を設定できます。
例) 電流設定ピン : 3(100mA)、%検出切替スイッチ : 8(80%)の場合
電流設定値動作100mA以上、%検出動作80mA以上で動作。
- 4) 検出時間切替スイッチの設定を行います。
- 5) 全ての接続、設定が終了したら、AC100Vのコンセントに電源プラグを挿入します。(電源ランプが点灯)
- 6) テストスイッチを押し、動作に異常がないことを確認して下さい。
各チャンネルの動作ランプと%検出ランプが点灯し、警報接点が動作します。
- 7) 測定に移ります。
%検出動作以上の電流を検出した時に、%検出ランプが点灯します。
*%検出動作は検出時間が0.1秒です。検出時間切替スイッチの設定とは関係ありません。
電流設定値動作以上の電流を、検出時間以上検出した時に、で動作ランプが点灯し、警報接点が動作します。
- 8) 各検出動作ランプの点灯をリセットする場合は、リセットスイッチを押して下さい。
*%検出ランプ及び動作ランプの点灯については、メモリ機能があるため、点灯中に電源が停電した場合でも、復旧した時には、検出していたランプは再点灯します。

保証書

*御使用者 住所 氏名		
MODEL	SRL-02	SERNO
保証期間	年	月より1ヵ年

お願い
本保証書はアフターサービスの際、必要となります。
お手数でも*印箇所にご記入のうえ、本器の最終御使用者のお手紙に保管して下さい。

- 保証規定
1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障が生じた場合は保証規定に基づき、無償で修理いたします。
 2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
 3. 保証書の再発行はいたしません。
 4. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - a. 不適当な取扱い使用による故障。
 - b. 設計仕様条件等を超えた取扱い、使用または保管による故障。
 - c. 当社もしくは当社が委譲した者以外の改造、または修理に起因する故障。
 - d. その他当社の責任とみなされない故障。

販売店名